



2021年3月期 決算説明資料

株式会社トマト銀行

目次

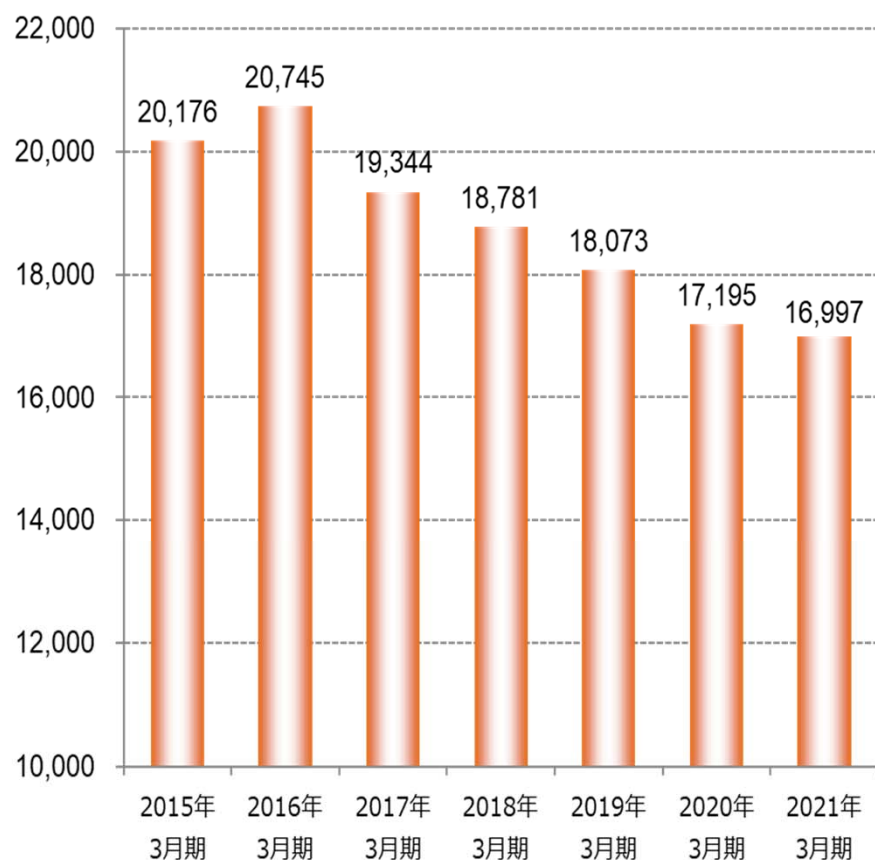
2021年3月期 決算概要	
損益の推移	2
決算概要	3
預金・預り資産	4
貸出金	5
岡山県内向け貸出	6
中小企業向け貸出	7
事業者向け貸出先数	8
総資金利鞘	9
有価証券	10
自己資本比率	11
経費・コア業務粗利益 O H R	12
不良債権比率、保全・引当状況	13
2022年3月期 業績予想	14
トマト銀行のプロフィール	15
本資料に関する照会先	16

損益の推移(単体)

- 貸出金利息及び有価証券利息が減少したことを主因に資金運用収益が減少し、経常収益は減収
- 資金利益が減少したものの、営業経費が減少したこと等により、経常利益、当期純利益ともに増益
- 経常利益は業績予想比+331百万円、当期純利益は同+179百万円となり、ともに業績予想を大きく上回った

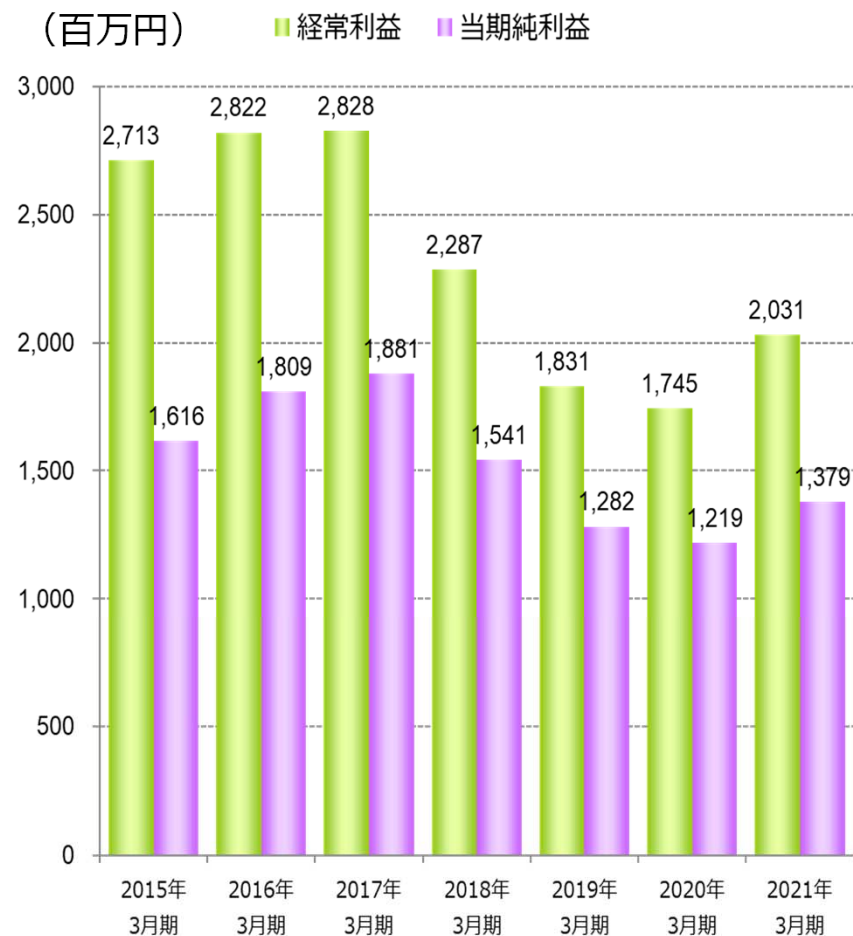
経常収益の推移

(百万円)



経常利益・当期純利益の推移

(百万円)



決算概要

- ・ 業務粗利益は、資金利益ならびに役務取引等利益の減少などから前期比 235百万円減少(△1.7%)の 13,329百万円
- ・ 経常利益は、経費の減少、株式等関係損益の増加などから前期比 286百万円増加(+16.3%)の 2,031百万円

損益状況

【単体】

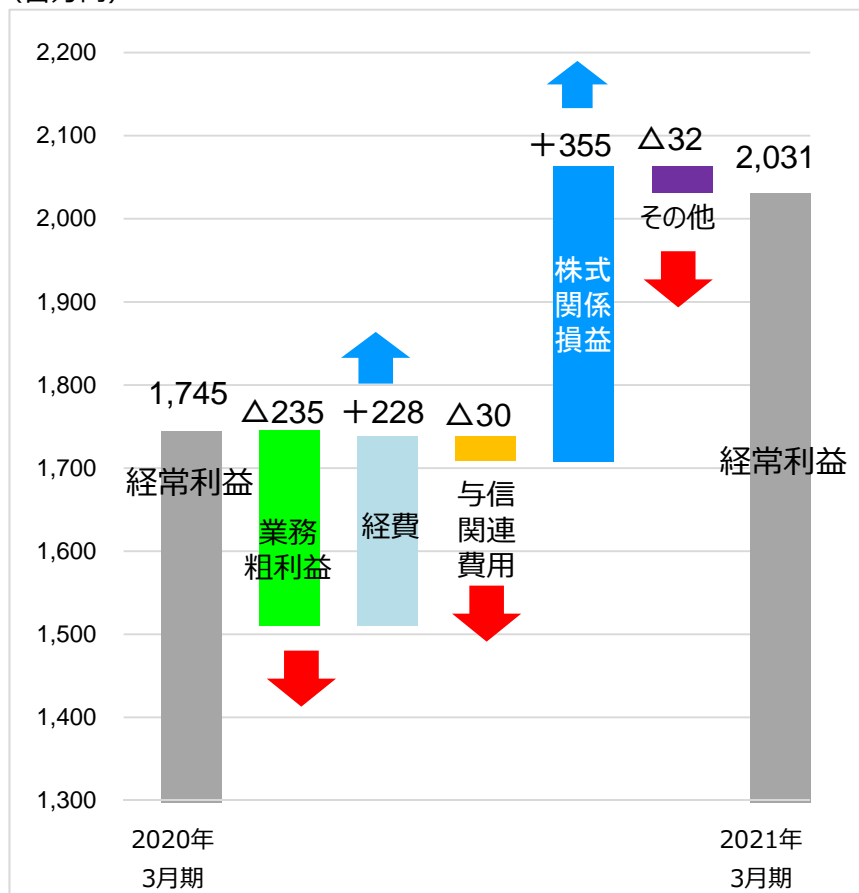
(単位：百万円)

	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比
業務粗利益	13,564	13,329	△235
うち資金利益	12,826	12,722	△103
うち役務取引等利益	617	566	△51
経費	11,418	11,189	△228
コア業務純益	2,081	2,101	+20
除く投信解約損益	1,870	2,073	+202
一般貸倒引当金繰入額①	20	△270	△290
業務純益	2,125	2,409	+283
臨時損益	△380	△378	+2
うち不良債権処理額②	271	592	+321
うち株式等関係損益	△180	174	+355
経常利益	1,745	2,031	+286
当期純利益	1,219	1,379	+160
与信関連費用 (①+②)	291	322	+30

経常利益の増減要因

【単体】

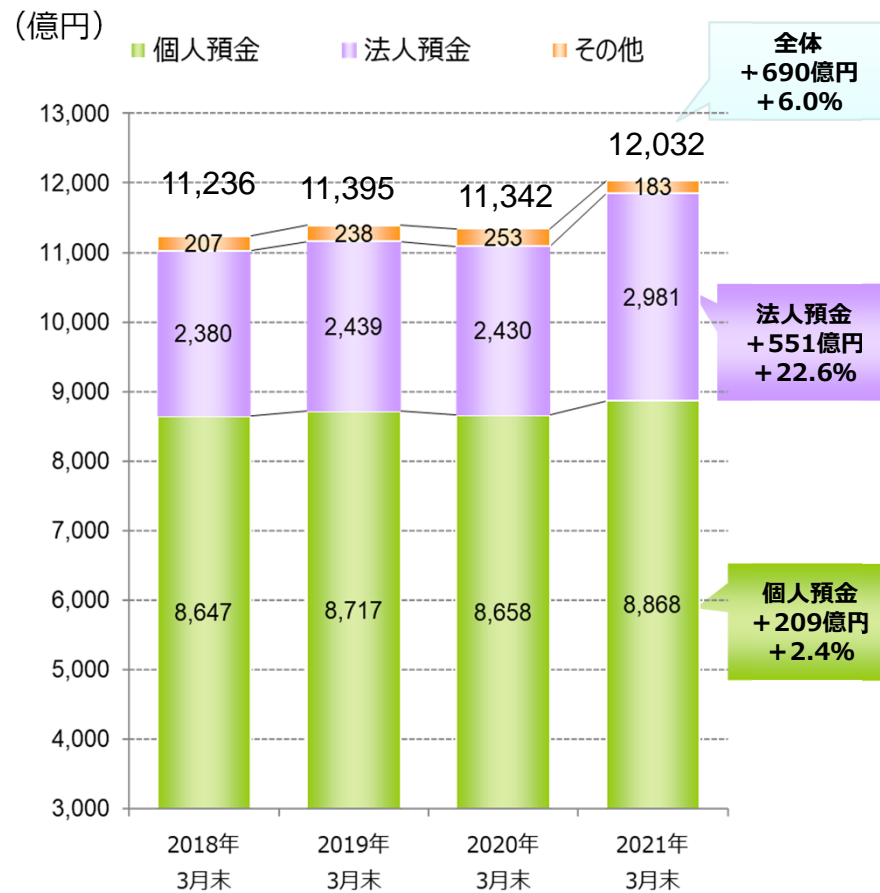
(百万円)



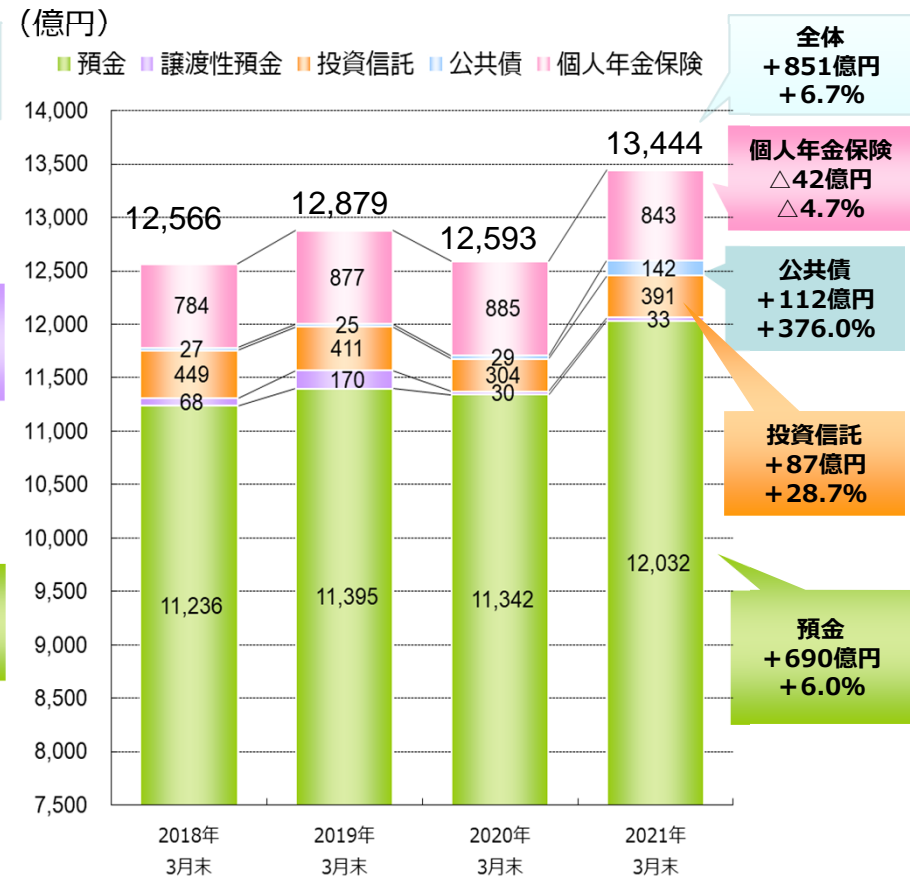
預金・預り資産

- 預金は、流動性預金の増加を主因に2020年3月末比 690億円増加（+6.0%）の 1兆2,032億円
- 預り資産残高（預金含む）は、預金の残高の増加等により2020年3月末比 851億円増加（+6.7%）の 1兆3,444億円

預金残高の推移(単体)



預り資産残高の推移(単体)



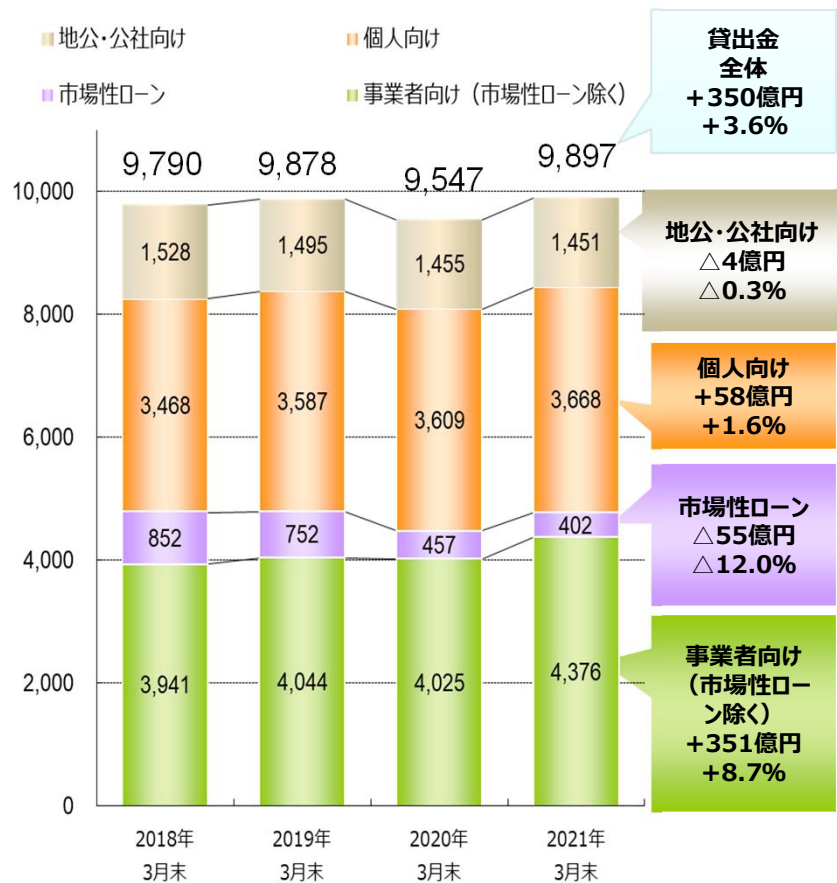
※ 預り資産とは、預金、譲渡性預金、投資信託、公共債、個人年金保険をいいます。

貸出金

- 事業者向け（市場性ローン除く）貸出金残高は、新型コロナに対応した資金繰り支援に積極的に取り組んだことから2020年3月末比 351億円増加（+8.7%）の4,376億円
- 個人ローン残高は、住宅ローンが増加し、2020年3月末比 62億円増加（+1.7%）の3,649億円
- 全体の貸出金残高は、2020年3月末比 350億円増加（+3.6%）の9,897億円

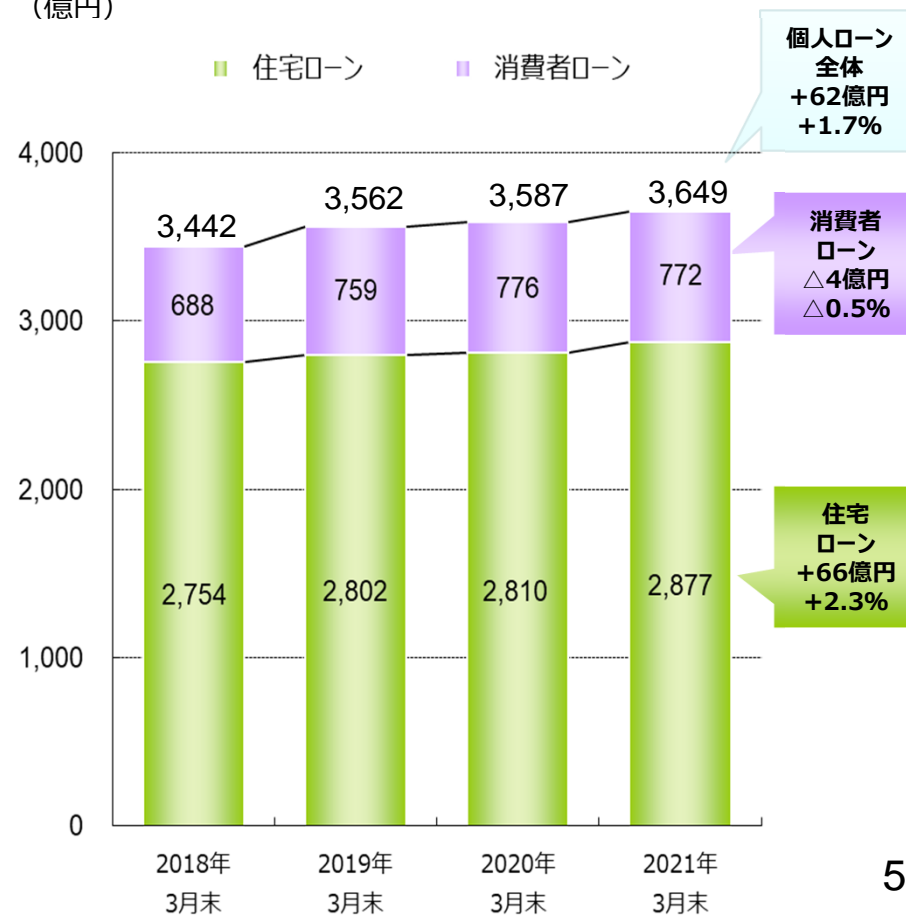
貸出金残高の推移(単体)

(億円)



個人ローン残高の推移(単体)

(億円)



岡山県内向け貸出

- 岡山県内向け貸出残高は、2020年3月末比 378億円増加 (+4.5%) の 8,762億円
- 岡山県内向け比率は、2020年3月末比 0.7%上昇の 88.5%
- 岡山県外向け貸出残高は、市場性ローンの減少に伴い 2020年3月末比 27億円減少 (△2.4%)

(億円)

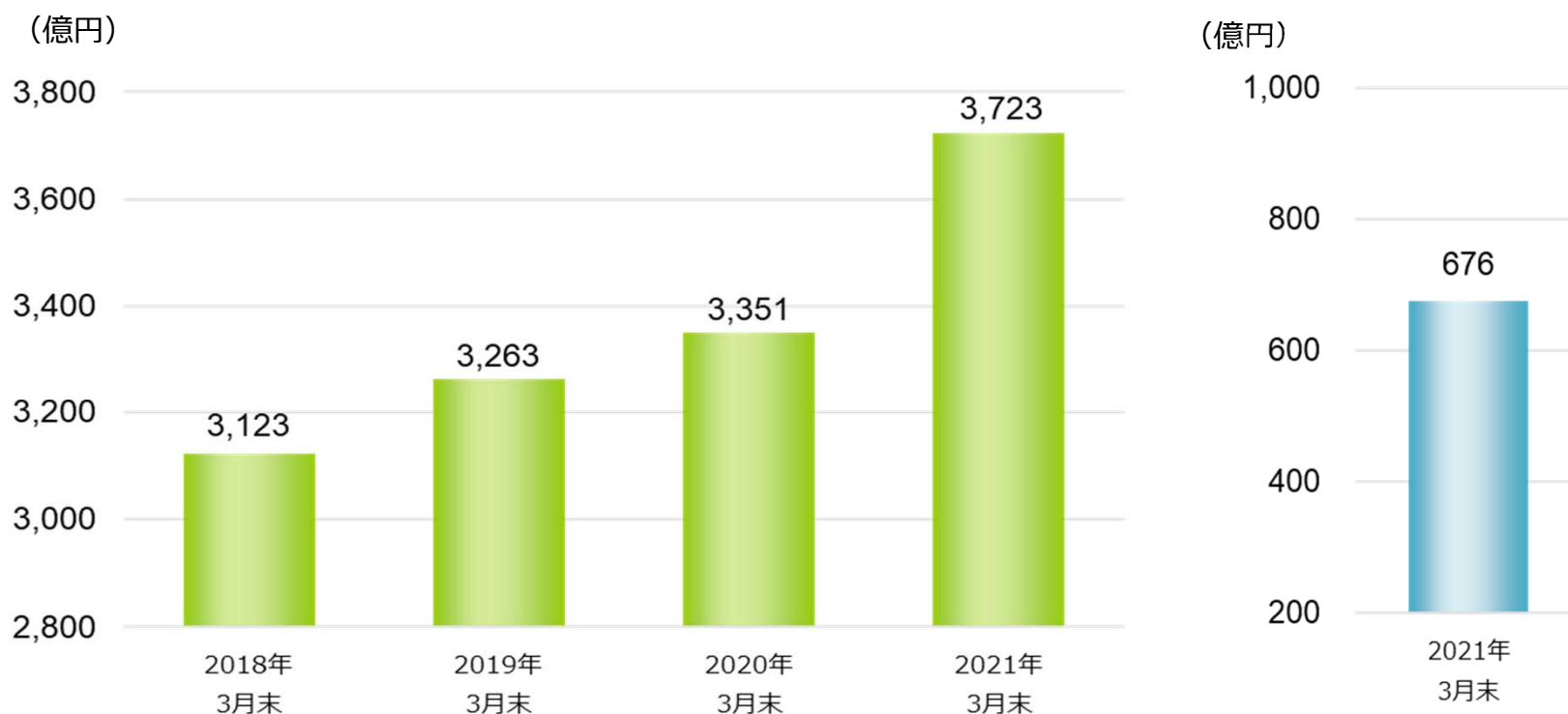


中小企業向け貸出・新型コロナ対応貸出

- 中小企業向け貸出（市場性ローン・預担除く）残高は、新型コロナに対応した資金繰り支援(676億円(貸出金全体))を積極的に行ったことから、2020年3月末比 371億円増加（+11.0%）の 3,723億円
- 貸出金全体に占める新型コロナ対応貸出残高は、676億円

中小企業向け（※）貸出（市場性ローン・預担除く）残高

新型コロナ対応貸出残高(貸出金全体)

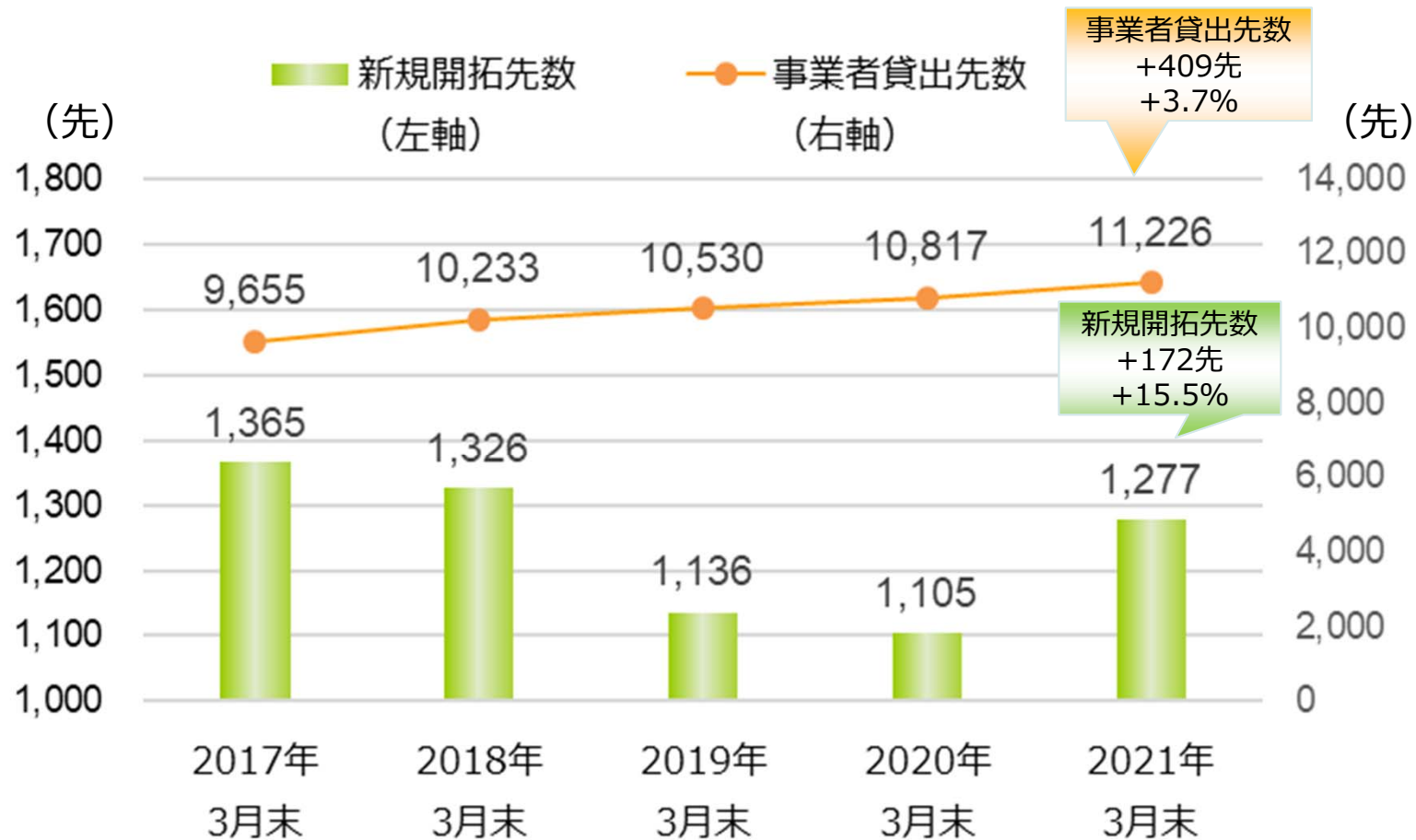


※ 資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品貸 貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし卸売業、物品貸貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業など

※ 新型コロナ対応貸出残高は、貸出金全体の計数

事業者向け貸出先数(順調に増加)

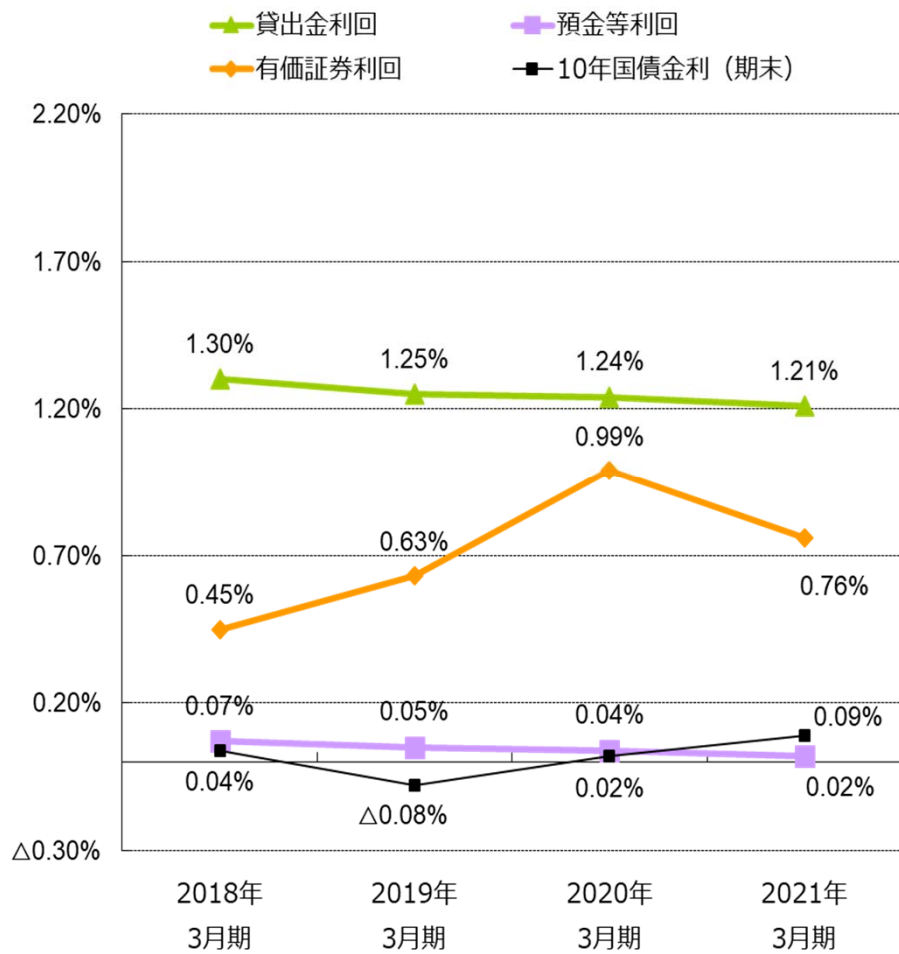
- 2020年度の新規開拓先数は、6年間実施した本業支援活動が大きな成果となってあらわれ、前年度比172先増加(+15.5%)の1,277先
- 事業者向け貸出先数は順調に増加し、2020年3月末比409先増加(+3.7%)の11,226先



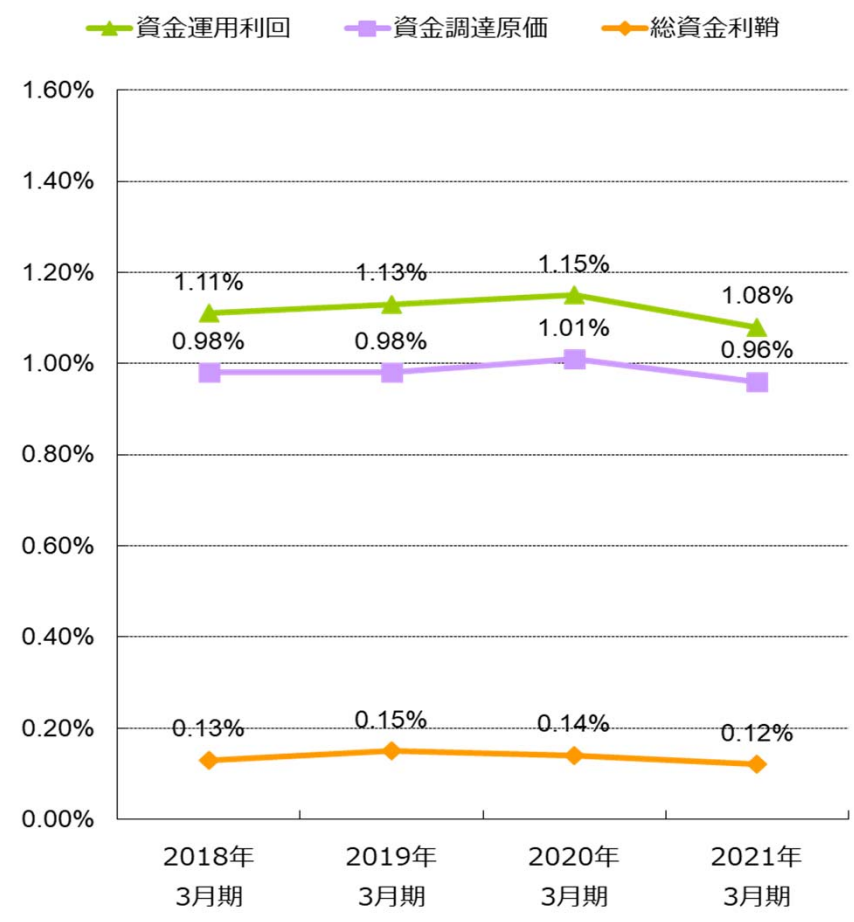
総資金利鞘(国内業務部門)

- 貸出金利回は、低金利政策の長期化により2020年3月期比 0.03%低下の 1.21%
- 有価証券利回は、2020年3月期比 0.23%低下の 0.76%
- 総資金利鞘は、資金運用利回りが低下し2020年3月期比 0.02%低下の 0.12%

各種利回り等の推移(国内業務部門)



総資金利鞘等の推移(国内業務部門)

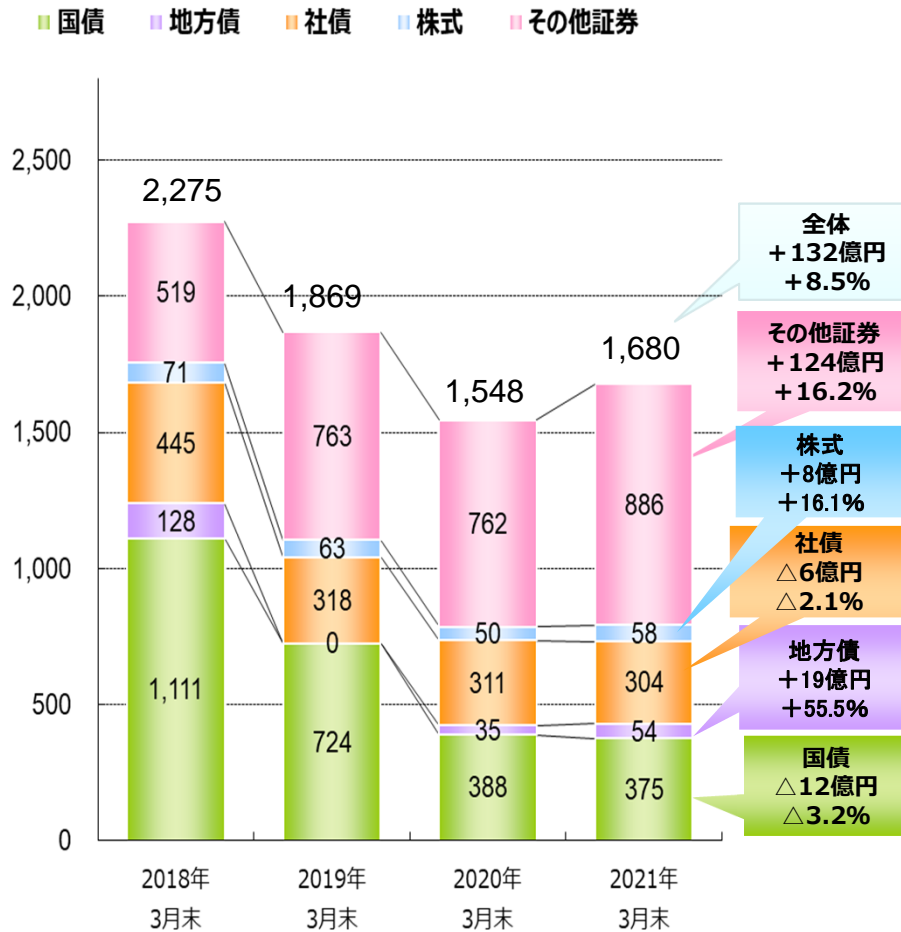


有価証券

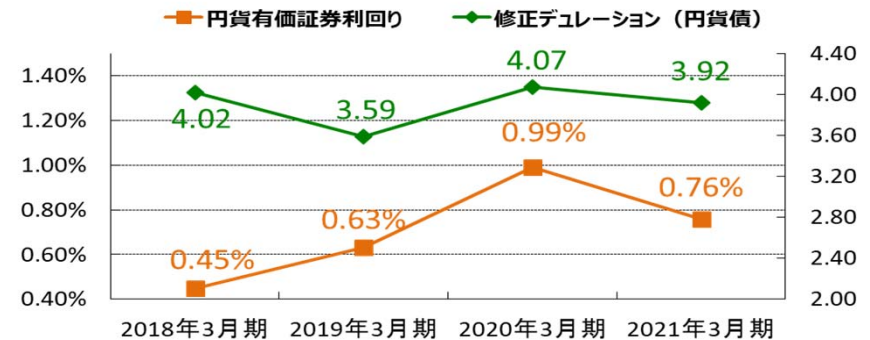
- 有価証券残高は、其他証券（ファンド等）が増加したことから2020年3月末比 132億円増加（+8.5%）の1,680億円
- 有価証券評価損益は、其他（ファンド等）および株式の評価益の増加により2020年3月末比 2,333百万円増加の 3,654百万円

有価証券残高の推移

(億円)



利回り・修正デュレーションの推移



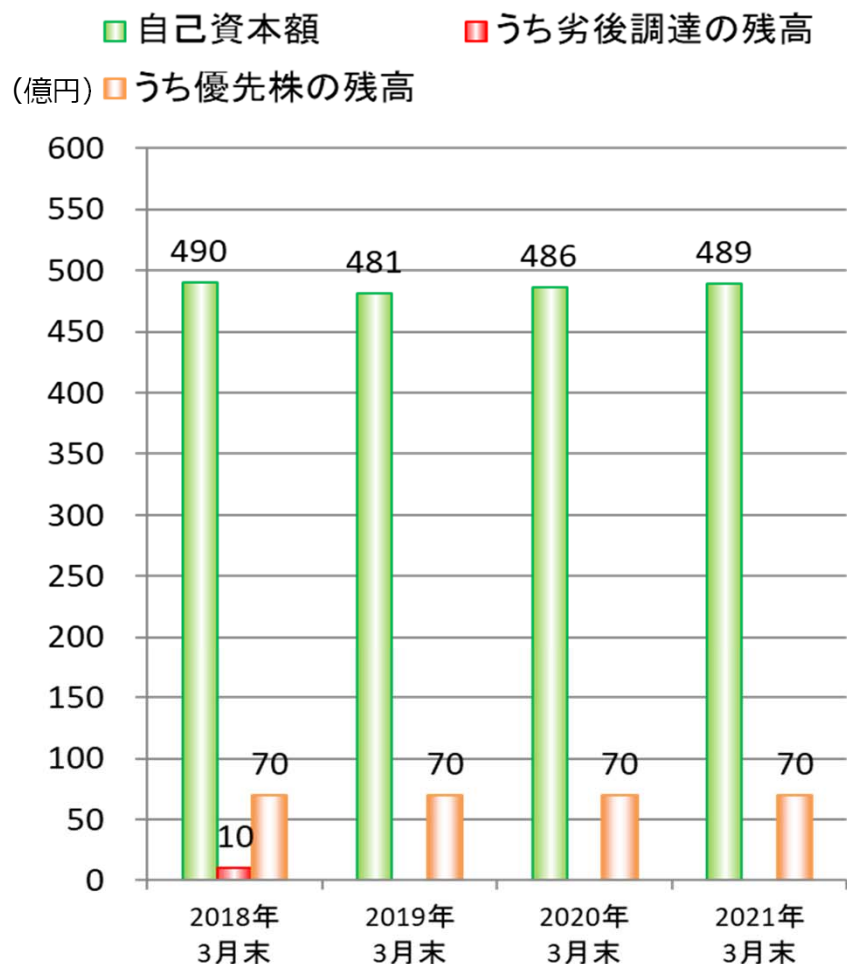
有価証券評価損益の状況

	(単位: 百万円)	2021年3月 末評価損益		2020年3月 末評価損益
			前期末比	
満期保有目的		724	$\Delta 276$	1,000
その他の有価証券		2,929	+ 2,609	320
株式		2,163	+ 792	1,371
債券		388	$\Delta 196$	585
その他		378	+ 2,013	$\Delta 1,635$
合計		3,654	+ 2,333	1,320

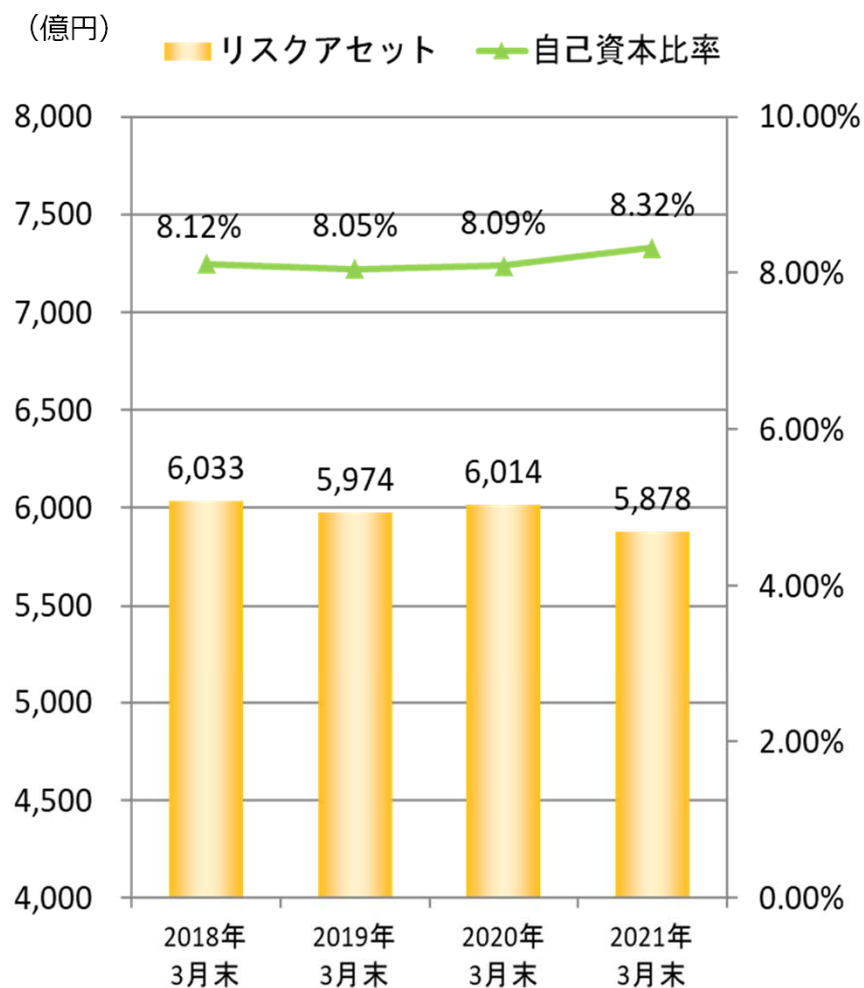
自己資本比率

- 自己資本比率（単体）は、利益の積み上げによる自己資本の増加に加え、リスクアセットの減少により2020年3月末比 0.23%上昇の 8.32%
- 国内基準（4%以上）を大きく上回っており、健全性を確保

自己資本の推移【単体】



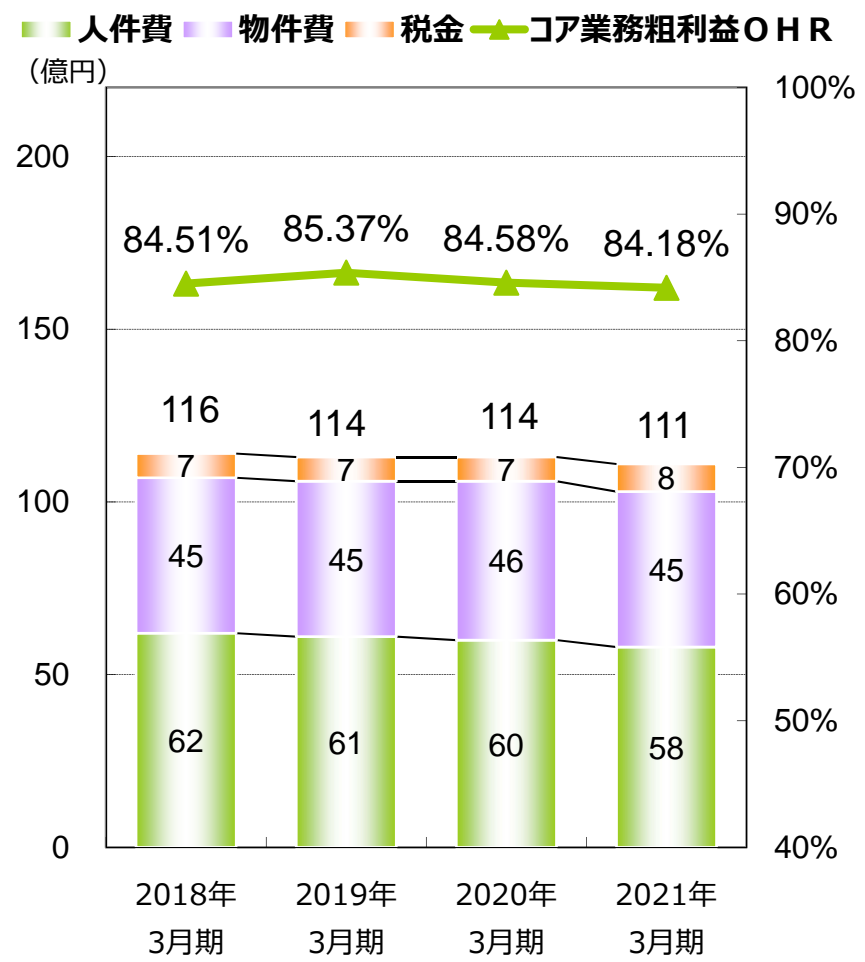
自己資本比率・リスクアセットの推移【単体】



経費・コア業務粗利益OHR

- 人員の減少で人件費が減少、全社をあげて経費削減に取組み物件費が減少したことで、経費は2020年3月期比 228百万円減少し 11,189百万円
- コア業務粗利益OHRは、経費の減少により2020年3月末比 0.40%低下の 84.18%

経費・コア業務粗利益OHRの推移

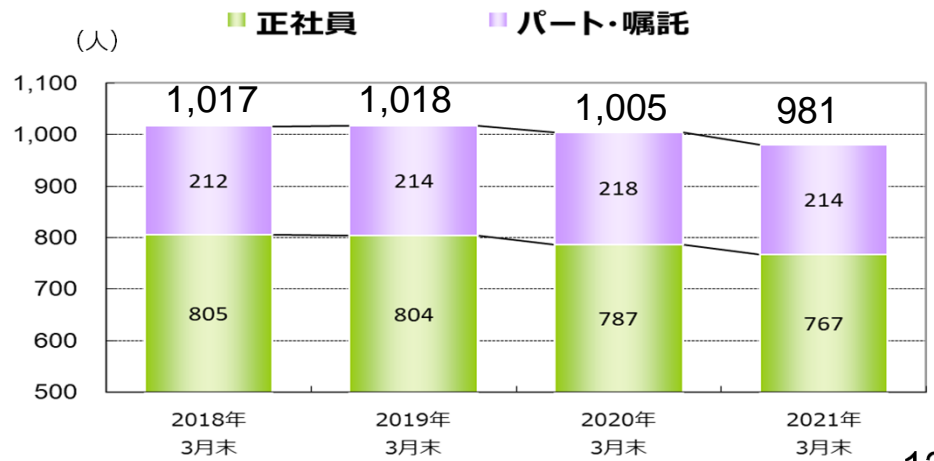


※ OHR = 営業経費 / コア業務粗利益

経費の推移

(単位：百万円)		2021年 3月期	前期比	2020年 3月期
		合計	11,189	△ 228
人	件 費	5,870	△ 137	6,008
物	件 費	4,512	△ 110	4,622
税	金	806	+ 19	786

人員の推移

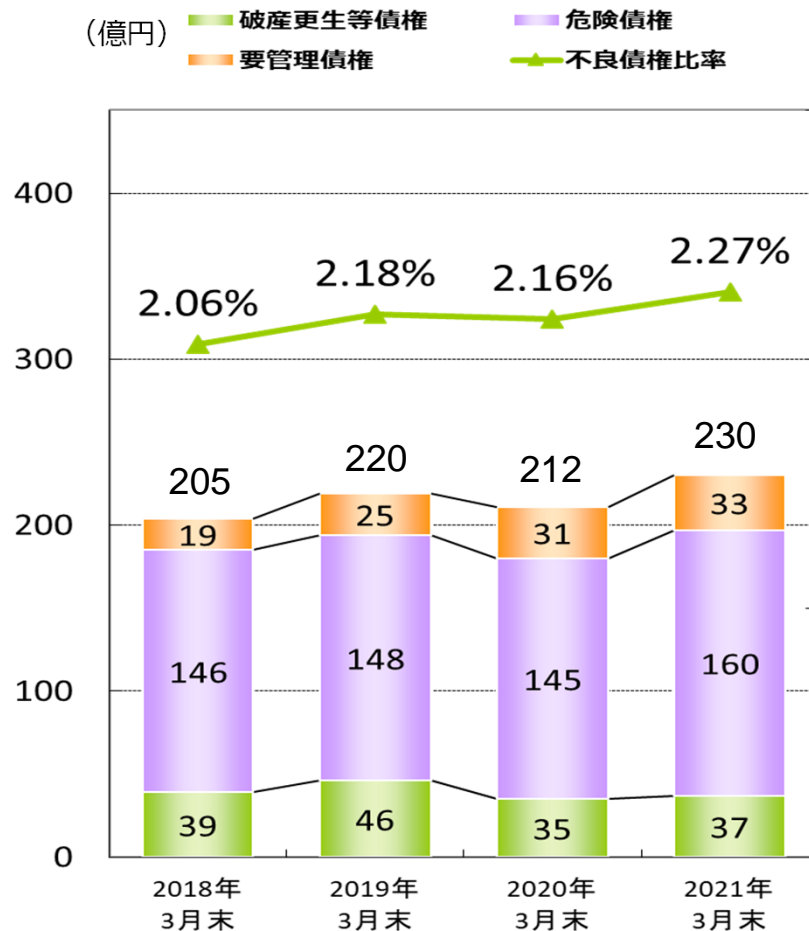


※ 出向者を除く

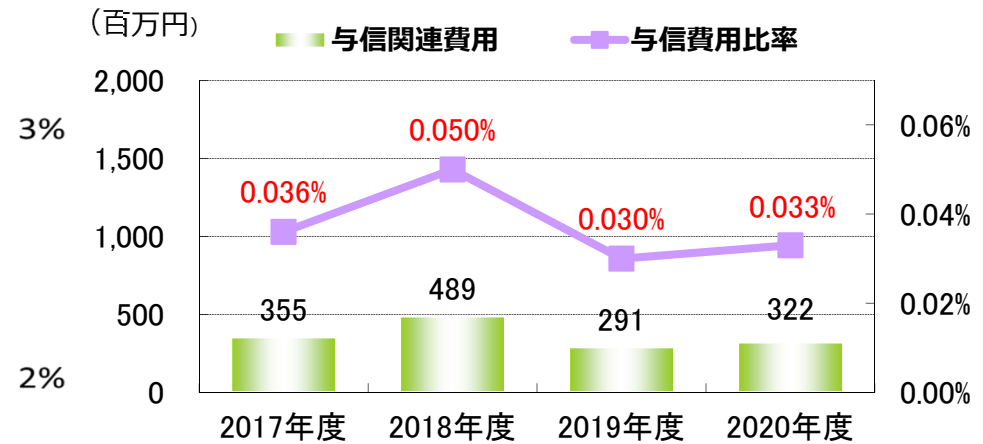
不良債権比率、保全・引当状況

- 不良債権比率（金融再生法開示債権比率）は、2020年3月末比 0.11%上昇の 2.27%
- 2020年度の与信関連費用は、2019年度比 30百万円増加の322百万円
- 保全率（担保・保証等、引当金）は、77.74%と高水準を維持

不良債権比率の推移



与信関連費用・与信費用比率の推移



※ 与信費用比率 = (一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額) ÷ 期中貸出金平均残高

保全・引当状況

(単位：%)

	2021年 3月末	前期末比	2020年 3月末
保全率	77.74	△ 0.89	78.63
引当率	39.49	+ 0.02	39.47

2022年3月期 業績予想

【単体】

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		一株当たり 当期純利益	
2022年3月期 (予想)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	16,800	△1.1	2,000	△1.5	1,300	△5.7	97	91

【連結】

	連結経常収益		連結経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		一株当たり 当期純利益	
2022年3月期 (予想)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	21,800	△3.4	2,200	△2.8	1,400	△7.8	106	61

トマト銀行のプロフィール

本社所在地	岡山県岡山市北区番町2丁目3番4号
設立年月日	1931年（昭和6年）11月9日
資本金	178億1千万円
総資産	1兆2,912億円
預り資産残高	1兆3,444億円（うち預金残高 1兆2,032億円）
貸出金残高	9,897億円
従業員数	798名（嘱託・パート社員を除く）
店舗数	61カ店、住宅ローンセンター 2カ所、ビジネスサポートプラザ 1カ所
上場取引所	東証一部（証券コード 8542）

※ 計数は単体、2021年3月末時点

本資料に関する照会先



株式会社トマト銀行 経営企画部

Tel : 086-800-1830

Fax : 086-224-0207

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比等異なる可能性があることにご注意ください。